

プレスリリース

イエーテボリ、
2019年3月8日

2019年ハッセルブラッド賞 受賞者は 森山大道氏に 決定しました

ハッセルブラッド財団は、2019年ハッセルブラッド財団国際写真賞の受賞者に日本の写真家の森山大道氏を決定したことを、謹んでお知らせ致します。授賞式はスウェーデンのイエーテボリにて、2019年10月13日に行われます。10月14日にはハッセルブラッド・センターにて、森山氏のシンポジウムと写真展のオープニングを開催し、森山氏についての新刊書籍がヴァルター・ケーニッヒ書店出版 (Verlag der Buchhandlung Walther König) より発表されます。

2019年ハッセルブラッド賞受賞者、森山大道氏について財団からのことば：

「森山大道氏は日本の最も著名な写真家のひとりであり、写真そのものと被写体に対するラディカルなアプローチで高く評価されています。森山氏の写真は極めて主観的であるにもかかわらず、真実に迫るアプローチを包含しています。都市生活への辛辣な視点や、日常生活と個性溢れる人物たちによる混沌を反映したその作品は、幻想と現実の間という独自の位置を占めています。森山氏は短期間ながらも多大な影響を与えた『プロヴォーク』の活動から現れた、最も卓越した芸術家となりました。『プロヴォーク』は、写真を伝統から解放し、写真の本質を問いただす上で、大きな役割を果たしました。森山氏の大胆で徹底したスタイルは、日本の写真を国際的に位置づける重要なきっかけとなったのです。写真家ウィリアム・クラインや作家ジャック・ケルアック、ジェイムズ・ボールドウィン、そして寺山修司の実験劇場などの影響を受けた森山氏は、自身が次世代の写真家たちに影響を与えており、それは日本のみならず世界中に広がっています」

ハッセルブラッド財団の理事会に本賞決定の報告をした審査員は、以下のメンバーです。

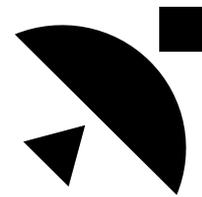
ポール・ロス、審査員長
ライオン・イメージ・センター (トロント)
チーフ・キュレーター、ディレクター

クリステン・リュッベン
マグナム財団 (ニューヨーク)
エグゼクティブ・ディレクター

アン・クリスティン・バートランド
C/Oベルリン財団 (ベルリン)
キュレーター

チアゴ・ノゲイラ
モレイラ・サレス・インスティテュート (サンパウロ)
キュレーター

スザンナ・ブラウン
ヴィクトリア&アルバート博物館 (ロンドン)
写真キュレーター



「森山大道の写真の表現は、生活を剥き出しにしたものです。彼は美しいものも醜いものも恐れてはいません。真に革新的な写真家であり、芸術や写真業界に限らずさまざまなクリエイティブな分野の人々に、刺激を与えています。今回、森山氏と彼の膨大な数の写真と出版物を元に作業ができるのは実に嬉しいことです。来たる展覧会と新しく出版されるカタログで、世の中を徹底的に凝視し続ける森山氏の豊かな世界を伝えられればと願っています」

— サラ・ウォーカー&ルイズ・ウォルターズ (ハッセルブラッド財団キュレーター)

「日本の写真界の象徴的な存在であり、そのラディカルな美意識が世界で尊敬される森山大道は、歴代の写真家の中で最も重要で影響力を持つひとりなのは、間違いありません。彼の卓越した写真の混沌とした動きと荒々しい美は、全世代の鑑賞者に普遍的な都市心理を伝えるのです。それはつまり、すべての脱工業化都市に共通する疎外感や混乱に対する深い共感です。森山の写真は、記録というより心象表現に思えます—一人々が共通に想像する、現代のグローバルなメトロポリスからの風景なのです」

— ポール・ロス

(ライアソン・イメージ・センターディレクター、2019年ハッセルブラッド賞審査員長)

「この度のハッセルブラッド写真賞の受賞のお知らせ、とても嬉しく思います。これはぼくが長い間路上で写真を撮り続けてきたことが評価されたのだと思います、これからも路上で多くの写真を撮り続けます。どうもありがとうございました」

— 森山 大道

「2019年はハッセルブラッド財団設立から40年の節目となりますが、その名を広く知られ、かつ長年にわたって多様なキャリアを持つ森山大道氏のような写真家が今年の受賞者なのは、実に相応しいことだと思います」

— クリスティーナ・バックマン (ハッセルブラッド財団ディレクター)



森山大道 略歴

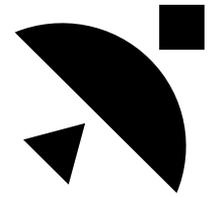
1938年大阪生まれ。

グラフィックデザインを学んだ後、岩宮武二のもとで初めて写真を学ぶ。1961年に上京。日本の著名な写真家、細江英公の助手となり、細江の代表作である『薔薇刑』（被写体は作家の三島由紀夫）の制作に携わる。1964年、フリーに。初のモノグラフ『につぼん劇場写真帖』（1968）は美術界で絶賛され、その後も数々の写真集を発表し、写真史を語る上で欠かせないものとなる。『写真よさようなら』（1972）、『狩人』（1972）、『Another Country in New York』（1974）、『光と影』（1982）、『仲治への旅』（1987）、『サン・ルウへの手紙』（1990）等、これまでに多数の書籍を発表している。

1968年、雑誌『プロヴォーク』活動のメンバーとして第2号に参加した森山は、濃厚で密な構成の写真を発表。森山の作品は生々しく不安定と評価されがちだが、写真家がストリートをうろつき、公共の空間に直面するストリートフォトグラフィという新しい手法を生み出した。70年代になると、シルクスクリーン印刷を取り入れ、その技術を出版だけでなく展覧会の作品にも用いるようになる。また、異なる空間と状況での対話の手段として、インタラクティブなイベントやインスタレーションも企画。『犬の記憶』（1984、1997）等、自伝的な著書も発表する。ここでは、ウジェーヌ・アジェ、ジャック・ケルアック、ウィリアム・クライン、ニセフォール・ニエプス、東松照明、アンディ・ウォーホル、ウィージー、ギャリー・ウィノグラッドの名前を挙げ、彼らの作品やスタイルから影響を受けたと記している。

森山の作品は、世界的に大きな衝撃をもたらした。1974年、ニューヨーク近代美術館は、西洋で初めて本格的に開催された日本人写真家の展覧会の中で、森山の作品を展示。以降、彼の作品は世界各地の展覧会に出品されることとなる。代表的な展覧会としては、ロンドンのテート・モダン（2012年『ウィリアム・クライン＋森山大道』）、サンフランシスコ近代美術館（1999年『Stray Dog』）、ニューヨークメトロポリタン美術館（1999年『Hunter』）、大阪国立国際美術館（2011年『オン・ザ・ロード』）、パリのカルティエ現代美術財団（2003年、2016年）、アルル国際写真フェスティバル（2013年『ラビリンス＋モノクローム』）等が挙げられる。

森山の作品は、ニューヨーク近代美術館、サンフランシスコ近代美術館、メトロポリタン美術館、J・ポール・ゲティ美術館（ロサンゼルス）、ボストン美術館、ポンピドゥー・センター（パリ）を含む数々の著名な公的施設でコレクションされている。また、これまでにサンフランシスコ近代美術館、メトロポリタン美術館、カルティエ現代美術財団、ヴィンタートゥール写真美術館（スイス）、フォルクヴァンク美術館（ドイツ、エッセン）、東京写真美術館、テート・モダン等で個展が開催された。



Hasselblad Foundation
ハッセルブラッド財団
Ekmansgatan 8
SE-412 56 Gothenburg,
Sweden
T +46 (0) 31 778 21 50
info@hasselbladfoundation.se
hasselbladfoundation.se

Facebook:
Hasselblad Foundation
Instagram:
@hasselbladfoundation
#hasselbladaward2019
#daidomoriyama

ハッセルブラッド財団について

ハッセルブラッド財団は、エルナ&ヴィクトル・ハッセルブラッドの遺言状に基づき、1979年に設立されました。本財団は、写真と自然科学の教育及びその研究の促進を目的としています。毎年開催される国際的な賞は、写真界において顕著な功績を挙げた人物に授与され、最も権威ある写真賞として、国際的に知られています。

財団では、ハッセルブラッド国際写真賞の受賞者及びスカンジナビアの写真家の写真のコレクションを所蔵しています。展覧会場であるハッセルブラッド・センターは、イェーテボリ美術館内にあります。また、写真界の発展のための奨学金も毎年授与しています。学術及び芸術分野の探求に積極的に関与し、書籍出版やシンポジウムの企画、スウェーデンや海外の大学との共同作業なども行っています。

ハッセルブラッド国際写真賞受賞者リスト

2019	Daido Moriyama	1999	Cindy Sherman
2018	Oscar Muñoz	1998	William Eggleston
2017	Rineke Dijkstra	1997	Christer Strömholm
2016	Stan Douglas	1996	Robert Frank
2015	Wolfgang Tillmans	1995	Robert Häusser
2014	Ishiuchi Miyako (石内都)	1994	Susan Meiselas
2013	Joan Fontcuberta	1993	Sune Jonsson
2012	Paul Graham	1992	Josef Koudelka
2011	Walid Raad	1991	Richard Avedon
2010	Sophie Calle	1990	William Klein
2009	Robert Adams	1989	Sebastião Salgado
2008	Graciela Iturbide	1988	Edouard Boubat
2007	Nan Goldin	1987	Hiroshi Hamaya (濱谷浩)
2006	David Goldblatt	1986	Ernst Haas
2005	Lee Friedlander	1985	Irving Penn
2004	Bernd & Hilla Becher	1984	Manuel Alvarez Bravo
2003	Malick Sidibé	1983	受賞者なし
2002	Jeff Wall	1982	Henri Cartier-Bresson
2001	Hiroshi Sugimoto (杉本博司)	1981	Ansel Adams
2000	Boris Mikhailov	1980	Lennart Nilsson

その他の情報、プレス資料については、以下のURLにアクセスをお願いします。
www.hasselbladfoundation.se
プレスログインのパスワード: press

プレス連絡先:
Jenny Blixt, Public Relations Officer
Phone +46(0)317782154
E-mail: jenny.blixt@hasselbladfoundation.se